

平成27年8月9日執行 村田町議会議員一般選挙公報

村田町選挙管理委員会



人口減少の中で街の将来像を描く「元気にする地域」を目指して

「地方創生」の推進

村田まちの「地方創生」の担い手として頑張ります。
2008年をピークに人口減少時代に入ったことで、村田町でも従来とは逆の縮小社会での持続可能なあり方を探らなければならない。今年、東京一極集中から地方を元気にする「地方創生」元年であり議会の自治力が試される年である。「創生」の意味である作り出す事、生み出す事、を重要課題として人口減少に合わせたコンパクトな街をどうつくるかという「地方創生」の担い手として応えていきます。皆様方のお力添え、お願い申し上げます。

私の政治姿勢

- 住民の視点・地域の声を政策に反映させます。
- 勉強に心がけ変化に対応する地域づくりを目指します。
- 企業感覚で行政・議会の改革に努めます。

経歴

- ☆1951年12月26日生：東北外国語専門学校卒
- ☆ヤマハ㈱勤務を経て、2003年初当選（3期）
- ☆監査委員・議会広報委員長・総務委員長を歴任



太田はつみ



公明党公認
菊地むつお
六十三歳

菊地むつおは
いきいき村田を
創ります！

- 子育ての強力なバックアップ
○保育所と幼稚園の長所を両立させた『認定こども園』を創設します。
- 若者の町内定住化促進
○公営住宅への優先入居を促進します
- 町営・民営住宅料金の助成を図ります。
- 高齢者のための環境づくり
○学校の空き教室を開放し、ふれあいと憩いの場を提供します。
- 雇用の安定化の促進
○企業の進出を促進し、子育ても安心してできる雇用の安定化を図ります。

プロフィール

昭和二十七年大河原町生まれ。大河原中学校、柴田農林高校、東北測量高等専門学校卒業。卒業後、測量士の資格を取得。竹中工務店、柴田司法書士事務所、東日本開発コンサルタントを経て、昭和五十二年「菊地測量事務所」を設立。平成二十三年、村田町定立字早稲原に転居。現在、妻、次男と三人暮らし。公明党村田支部副支部長。

略歴

- ◎昭和二十六年三月一日生まれ
- ◎宮城県柴田農林高等学校 林業科卒
- ◎赤沼・新若宮脇・二丁町 暗渠排水組合理事
- ◎衣崎造園園主
- ◎JAみやぎ仙南青年部長
- ◎村田町農業委員・職務代理
- ◎沼辺八幡神社神楽保存会会員
- ◎村田町議会議員

鈴木保博の基本政策
一 将来を担う青少年の育成
二 道路網の整備
三 農道、用排水路の整備
四 地産地消の推進
これらの実現に向けて全力で取り組んで参ります。
皆様の温かい御支援・御理解をよろしくお願い申し上げます。

健全な町づくりを！
この度の改選に当たり中山部落会・郷友会ほかの皆様の励ましに支えられ、再度町政に参画する事を決意いたしました。協働の力により健康・健全な町づくりを目指し活力ある地域社会創造のため町政の伸展と住民生活の向上のため、あらゆる努力をする決意です。



すずき
鈴木やすひろ

女性の声を町政に

- ① 高齢者が生きがいを感じる町づくりを推進します。
- ② 女性の力で町民主役の町政の実現をはかります。
- ③ 教育と福祉の充実で明るいまちづくりを。
- ④ 子育て支援の充実で若者定着のまちづくりを。



大内子
けいこ



安達
まこと

おもてなし行政の実現
町民の皆様と一緒に、見直し行政の実現、税金の使い道、役所手続きなど、窓口対応の在り方を見直し、町民側の視点に立った「おもてなし行政村田町」の実現に努力する為、議会議員に立候補致しました。皆様と共に生きる議員活動を実行し、努力いたしますので、ご支援をお願い致します。

プロフィール
大河原商業高等学校卒
東北リコー株式会社 柴田町 勤務
コンビニエンスストアあだち 経営
東邦生命保険株式会社 仙台支社 勤務
道徳科学研究所 モラロジー仙台支部 社会奉仕活動
㈱アドバンス 東京本社 勤務
セゾングループSSA 東京本社
情報セキュリティ事業部 主席部長
管理者養成学校 仙台支店 勤務
村田ふれあい市場 村田町 経営
協同組合ケンペイ宮城 仙台市 理事
有限会社 アダチ 代表取締役
姓名 ADACHI MAKOTO
生年月日 21 OCT 1950
母親・妻 3人家族

「一票が あなたの大事な 意思表示」

8月9日(日)は 村田町長選挙の投票日です。 村田町議会議員一般選挙

投票時間は午前7時から午後7時までです。
〔第7投票所は午前7時から午後4時までです。〕

選挙の当日都合が悪い方は、期日前投票をすることができます。

期日前投票は8月5日(水)から8日(土)まで、
時間は午前8時30分から午後8時までです。

役場1階選挙管理委員会室で行えますので、入場券を持参してください。
印鑑は必要ありません。
(投票所入場券がまだ届いていない場合でも投票できます。)



白バラの花が明るい選挙の象徴とされるようになったのは、明治時代、選挙・政治浄化のために活躍した原敬や犬養毅などの政治家が白バラを胸につけて登院したのが始まりといわれており、大正時代には、自由獲得運動、普通選挙を要求する運動を推進する人達が白バラを胸にかざして民主政治確立のために奮闘したといわれています。



高橋 まさひろ

戦争法案反対の1票は
日本共産党 高橋 まさひろへ

■安倍政権は「戦争法案」の採決を強行しました。私は、若者を戦場に送ることは断固反対です。国民と共に戦争法案を廃案にするため全力でがんばります。

くらし・福祉

■国保の積立金一億六千万のうち、三千万円を取り崩せば、国保税一千万の引き下げは可能なので実現させます。

■介護保険・利用料の引き上げに反対し、国・県に介護事業への支援を求め、負担軽減を図ります。

若者・子育て

■現在、中学三年生まで医療費は無料です。これを十八歳まで拡充します。

*国や県に強力に折衝し次の事項を実現させます。

■高校生・大学生のため返済不要の給付型奨学金の実現を図ります。

地域経済

■町に住宅リフォーム助成制度を創設し、地元中小業者の仕事づくりや地域経済の活性化を図ります。町の仕事はできるだけ地元業者に優先発注させます。

防災・自然環境

■竹ノ内産廃処分場の無害化のために、県国に対策の要請をします。また放射能汚染による、健康調査の実施をさせます。

■地震・火山・気象の観測、監視体制の強化を図らせます。

■国に折衝して、次の項目を実現させます。

■TPPからの撤退、農業所得確保対策を図らせませす。

■原発即時ゼロ！自然エネルギー社会を創りさせませす。

町議会報告を必ず実行します。

まさひろ通信を発行して議会報告をします。



遠藤 実

ごあいさつ

私は、再度立候補するにあたり、町民の皆様が主役であることを念頭に『安全で安心なまちづくり』を進めます。

地域農業の活性化

- 農業基盤(圃場)の整備と拡充
- 農道・農業用排水路整備
- 集落営農・担い手の育成
- 有害鳥獣駆除対策(イノシシ等)支援強化
- 隣接市町との広域連携

少子高齢化対策

- 子ども・子育て世代・若者世代へ子育て支援策充実
- 介護予防と介護支援充実
- 若者の定住化を促進

教育環境整備

- 教育環境格差是正のため(仮)教育環境改善検討会を早期に設置
 - 通園通学路の安全対策
 - 社会教育の充実
 - 文化活動(無形文化財保存の後継者育成)を支援
- 実現のため全力で取り組みます
ご支援をお願いします。



村上のぼる

村田町議会議員に立候補いたしました村上のぼるです。

私は、村田町が元気で、豊かで、うるおいのある町となるよう、二期8年の経験を傾注いたします。

少子高齢の時代は、目前です、転ばぬ先の杖として、豊かで、うるおいのある町造りを目指して、新たな提言と、実行性のある政策の実現に向けて行動します。

◎元気で、豊かで、うるおいのある町造り。

少子高齢化時代が町の将来に暗い影を落とし発展性のない町は、消滅の危機など、と報道されています。

私は、企業誘致、工場誘致の促進を推進し働く場所の確保を図るとともに新たな定住化対策を推進し人口増加をはかり、元気で、豊かで、うるおいのある町造りを目指します。

◎里山を整備し、自然豊かな町づくり
松枯れが目立つ里山を整備し、季節の恵みを楽しめる里山、誰でもが里山を散策できる環境整備を推進します。

◎安心、安全な町づくりを推進します
防災一筋三十五年の経験を活かした自主防災組織活動の基盤強化、消防団の体制の整備強化を推進します。

◎健康管理で健やかに
日々の生活は、健康が大切です。運動公園を整備し誰もが手軽に体力づくりができる環境整備を推進します。



さいとう 万之丞

子や孫のために 安心して暮らせる環境づくりに、みなさんと共に 実現に向けてしっかりと取り組んでまいります

「光陰矢のごとし」と申しますが、村田町が誕生してから六十年、町政が施行されてから実に百二十年を迎えるにあたり、今村田町はかつて先人の経験したものと異なった厳しい試練に直面しております。このような試練の時を乗り越え「村田町創生」へ向け、邁進して参る所存ですので、一層のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶

この度の、村田町議会議員選挙に立候補しました大沼よしただかです。私が目指す町政への取り組み姿勢は次の通りです。

「幸せ」を実感できる町政を！

心と体の健康づくり

○少子高齢化に対応した「安心・安全・安寧」を実現できる町づくりを目指します。

豊かな暮らしづくり

○学校跡地等の利活用による新たな公共施設・企業誘致による就業機会の拡大を図ります。

基幹産業である農業づくり

○行政と農協の連携強化による農産物の販売戦略を構築して、農業所得の増大と安定を目指します。

税金の「ムリ・ムラムラ」のない使い道を考え、費用対効果を検証し、効率的な歳出を図ります。

昭和二十六年三月二十一日生まれ

- 宮城県柴田農林高校卒
 - 宮城県農協講習所卒
 - 村田町農協共済部長
 - みやぎ仙南農協金融共済部長
 - 日本年金機構大河原年金事務所 入職
- 右同平成二十七年七月退職



大沼 よしただか



さとう 洋治

たしかかな力で
一歩前に

今、地域社会は厳しい時代に直面しております。
長年の行政・政治経験を活かし、子や孫が希望のもてるふるさと村田の「新しいまちづくり」実現に邁進いたします。

活力ある未来に向けて

- 一・地域経済活性化
- 一・安全で安心な暮らしを
- 一・災害に強く事件事故のないまち
- 一・子どもたちの笑顔あふれるまちを

未来を担う子どもたちがたくましく育つ教育福祉の充実

一・議会・行政の緊張感で真摯な議論を

正当な議論を通じ町民主体の町政の確立

皆様方の特段のご支援を
お願いいたします。



よしの齋

活力ある村田町へ！

プロフィール

- ☆ 昭和36年4月6日生まれ(54歳)
- ☆ 白石高校卒・東北学院大学法学部卒
- ☆ (株) エスエスワン 代表取締役
- ☆ (有) テクニカル工業 代表取締役
- さくら青年会協所2000年度理事長
- 大河原商業高等学校 PTA会長(19年~23年)



力強い発言と行動力で
住み良い村田町を！

- 企業感覚を行政・議会に！
- 住民の皆様の声を行政へ橋渡し致します。
- 町全体のことを考え、将来を見据えた議員活動をします。
- 市町村合併を推進します。
- ふるさと「村田」をもっと素晴らしいふるさととして次世代へバトンタッチできる様に活動致します。



さとう ましひろ 正隆

◆村田町は今年、町制施行百二十年、合併六十周年を迎えました。近隣の村々に先んじて町を名乗る開明の先頭にあつたはずが、今は、手放して喜べる状況にはありません。

◆合併以降の六十年を見て、後継を絶って、事なきに過ぎた無為無風の前半二十年◆残りの三十二年は一転、眠っていたあつち派・こつち派が目覚まし、町も役場も議会さえも二分した激烈な権争い。二期八年ごとに先行町政の全否定を行って、行き先不明の町道やら、子どもの声のないプールや体育館、竹の内産廃場の放置、三町合併のへびの、思いつき福祉センターの強行などなど、その場その時のつじつま施策を大生産。絶滅危惧の町として名指しされても恥じることがありません。

◆町はいま変わるべき。広く語って、進路をかせ、先につなぐ第三局の出番のときです。私たちが自身が好きになれる町、穏やかな人たちの住む・すこしい・おらほの町を、手の届く新町民派の目標です。



村田町選挙区正隆



わたなべげんいち 渡辺元道

【プロフィール】
白石高等学校卒業
村田町役場本職(議会事務局長、社会教育課長、沼辺支所長、会計課長等)
村田町議会議員2期

【主な役職】
産業建設教育常任委員会委員長
決算審査特別委員会委員長
河川管理状況調査特別委員会委員長
宮城県後期高齢者医療広域連合協議会議員

取り組むべき課題！

- 子育ての環境改善と高齢者福祉の支援・拡充！
- 政策提言・人口減少対策・雇用拡大！
- 町民の健康増進策と国民健康保険税の引き下げ！

渡辺元道は
是々非々で
取り組みます

- うつくしい心と町 (環境・安心)
- 「どうもね」が響く町 (共助)
- びんきで暮らせる町 (健康・福祉)
- べじーもすくすく育つ町 (子育て)
- なごやかで賑わいのある町 (観光)
- た畑が豊かな町 (農業)
- わきあいあいの町 (協働)



おお沼 よしただか

大好きなふるさとを
元気にしたい

お年寄りや障害を持つ皆さんにも安心して暮らせる、みんなで支え合おうまちづくり
子供たちの夢を輝かせるのは私たちの責任です
二十世紀の人々へ
景観に配慮した人々が集う
活気・魅力・賑わいのある
村田オリジナルのまちづくり

「地方創生」の推進
子育て・福祉環境の充実

情熱!! 誠実!! 行動力!!
全力疾走!!

- 白石高校卒業・日本大学法学部卒業
- オオヤマ株式会社(大沼民夫商店)代表取締役
- 村田町商工会 副会長
- 仙南地方危険物安全協会副会長
- 仙南法人会村田支部長
- 三町合併推進100人委員会一元事務局長
- 元さくら青年会議所理事長